



火災が多発しています 火の取扱いに注意してください！！

-今年に入り、1月の火災としては過去5年間で最も多い25件の火災、同じく最も多い4人の死者が発生しています。

空気が乾燥して火災が発生しやすくなっていることや暖房器具の使用により火災が増えております。つきましては、次のことに気を付けて火災予防に御協力をお願いします。

1 電気配線

電気製品の接続は正しく行い、たこ足配線とならないように注意してください。また、古くなった配線や家具の陰で接続されたままのコンセントに埃が溜まったりすることで、トラッキングの原因にもなりますので、定期的に確認してください。

2 ストープの近くに燃えやすいものを置かない

ストーブの上に干した洗濯物が落下したり、電気ストーブをつけたまま就寝して寝具等に燃え移ったりするケースが見られます。「燃えやすいものを近くに置かない、就寝時は消す」など取扱いに注意しましょう。

3 たばこの不始末をなくす

たばこの火災には、煙だけが上がり続ける「無炎燃焼」という特徴があります。長時間かけてくすぶり続けて、気が付いた時には手遅れになるケースも少なくありません。「寝たばこ」、「消したつもり」に注意しましょう。

4 風の強い日はたき火、野焼きをしない

空気が乾燥し風が強い日に実施し火の回りが予想以上に早く拡大し、気が付いた時には手が付けられない状態となってしまうものです。強風時はたき火・野焼きはしないようにしましょう。

5 まとめ

気温の下がる冬は特に火の取扱いが増え空気が乾燥するため、ちょっとした不注意で大きな火災につながりやすいです。

火を取扱うときは細心の注意を払うとともに、万一火災がしたときに大切な命や財産を守るために、住宅用火災報知器や消火器の設置などに御理解、御協力をお願いします。



【参考】札幌市消防局提供の木材の燃焼状況の違いを撮影した動画です。通常の木材と乾燥した木材の燃焼状況の違いを確認できます。使用の際は、札幌市消防局へ連絡の後にお願いします。

札幌市消防科学研究所 011-616-2262

